



## 安全データシート(SDS)

## Corium Z253 ギヤ&amp;ワイヤー潤滑スプレー

発行日: 2015-12-18

改訂日付: 2016-06-01

バージョン: R0001.0001

## 1. 化学製品および会社情報

## A. 製品名

- Corium Z253 ギヤ&amp;ワイヤー潤滑スプレー

## B. 製品の勧告用途と使用上の制限

- 用途 : ギヤ及びワイヤー用潤滑剤  
- 使用上の制限 : 所定の用途以外に使用しないこと

## C. 製造業者/供給者/流通業者情報

- 製造者情報
  - 製造元/供給元 : Corium Industrial Chemicals
- 供給者/販売者情報 :
  - 供給元/販売元 : 株式会社ITWパフォーマンスポリマーズ & フルuids ジャパン
  - 住所 : 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町30-32
  - 担当部署 : 品質管理部
  - 電話 : 06-6330-7118
  - FAX : 06-6330-7083

## 2. 危険有害性の要約

## A. GHS分類

- 可燃性エアゾール : 区分1
- 生殖毒性 : 区分2
- 標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分3(麻酔作用)
- 標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分2(神経系)
- 慢性水生環境有害性 : 区分3

## B. 予防措置文句を含む警告表示項目

## ○ シンボル



- 注意喚起語
  - 危険
- 危険有害性情報
  - H222 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
  - H336 眠気やめまいのおそれ
  - H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
  - H373 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ(神経系)
  - H412 長期的影響により水生生物に有害
- 注意書き
  - 1) 予防
    - P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
    - P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
    - P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
    - P233 容器を密閉しておくこと。
    - P240 容器を接地すること/アースをとること。
    - P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
    - P242 火花を発生させない工具を使用すること。
    - P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
    - P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
    - P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
    - P273 環境への放出を避けること。
    - P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
    - P281 指定された個人用保護具を使用すること。

**2) 対応**

- P303+P361+P353 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P308+P313 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- P370+P378 火災の場合：消火に適合の消化剤を使用すること。(SDS5項ご参照)

**3) 保存**

- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405 施錠して保管すること。

**4) 廃棄**

- P501 内容物/容器を都道府県/市町村の法令・規則に従って廃棄すること。

**C. 有害・危険性分類基準に含まれてないその他の有害・危険性**

## ○ NFPA等級 (0~4段階)

- 保健: 0, 火災: 0, 反応性: 0

**3. 組成及び成分情報**

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 一般名 : 潤滑剤

化学物質名	慣用名及び異名	CAS No.	官報公示番号	PRTR法	含有量(%)
アスファルト	—	登録済み	—	—	35-45
鉱油	Emulsifiable oil	64742-54-7	—	—	10-20
プロパン	Dimethylmethane	74-98-6	2-3	—	10-20
ブタン	Methylethylmethane	106-97-8	2-4	—	10-20
n-ヘキサン	Dipropyl ; Hexyl hydride ; n-Hexane	110-54-3	2-6	第1種, 392号	7
タルク	Talcum	14807-96-6	—	—	1-10

\*GHS危険有害性分類対象物質と日本国内法規制対象物質のみ記載

**4. 応急措置****A. 眼への接触**

- 眼をこすらないこと。
- 大量の水を使用して、少なくとも15分間眼を洗い流すこと。
- 直ちに医師の治療を受けること。

**B. 皮膚に付着した場合**

- 直ちに医師の治療を受けること。

**C. 吸入毒性**

- 多量の蒸気やミストに曝露された場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。
- 必要に応じて適切な措置をとること。
- 直ちに医師の治療を受けること。

**D. 飲み込んだ場合**

- 嘔吐をすべきかどうかについては医師の助言を取ること。
- 直ちに水で口をすすぐこと。
- 直ちに医師の治療を受けること。

**E. 急性および遅延性の主な症状/影響**

- データなし

**F. 応急処置および医師の注意事項**

- ばく露とばく露懸念時、医学的な措置、助言を求めること。

**5. 火災時の措置****A. 消火剤**

- 炭酸ガス、ドライケミカル、耐アルコール性フォーム

**B. 使ってはならない消火剤**

- 水(炎を拡散する可能性がある)

**C. 特有の危険有害性**

- 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

**D. 特定の消化方法**

- 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

**E. 消化を行う者の保護**

- 空気呼吸器を含め、必要に応じて適切な保護具(耐熱性)を着用すること。

**6. 漏出時の措置****A. 人体を保護するために必要な注意事項**

- 作業者は適切な保護具("8. 暴露防止及び保護措置"の項参照)を着用して、眼、皮膚への接触や吸入を避けること。
- 風上で作業して、風下にいる人を非難させること。
- 漏出し物質に触れないこと。作業者が危険なく漏れを停止させることができれば停止すること。
- 漏出区域から安全な区域に容器を移動すること。
- 危険地域を隔離し、関係者外の立ち入りを禁止すること

**B. 環境に対する注意事項**

- 漏出物が下水施設、水系に流入しないようにすること。

**C. 浄化方法**

- 大量漏出の場合、低い領域を避け、風上に止まること。後日処理のために堤防を築造して管理すること。
- 基準量以上排出時、中央政府、地方公共団体の排出の内容を通知すること。
- 廃棄物管理法(環境省)により処理すること。
- 漏出物質廃棄のため、適切な容器に回収すること。
- プラスチック容器を使用しないこと。

**7. 取扱い及び保管上の注意****A. 安全な取り扱いのための注意事項**

- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 未熟練な人は、この化学製品やその化学製品が入った容器を取り扱わないこと。
- 汚染された衣服を作業場から持ち出さないこと。

**B. 安全保管条件**

- 静電気を防止するために可燃性の物質および熱源から遠ざけること。
- 密閉容器に入れて回収すること。
- 換気の良い場所で保管すること。

**8. 暴露防止及び保護措置****A. 許可濃度**

- 日本許容濃度
  - [n-Hexane]: 40ppm, 140mg/m<sup>3</sup>, S
  - [Butane]: 500ppm, 1,200mg/m<sup>3</sup>
- ACGIHの暴露標準
  - [Propane]: TWA, 1000 ppm
  - [Butane]: TWA, 1000 ppm
  - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic]: TWA 5 mg/m<sup>3</sup>, Inhalable particulate matter(Mineral oil, Pure, highly and severely refined)
  - [n-Hexane]: TWA, 50 ppm (176 mg/m<sup>3</sup>)
  - [Talc]: TWA 2 mg/m<sup>3</sup>, Respirable particulate matter (containing no asbestos and <1% crystalline silica)

**B. 設備対策**

- 作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。
- 適切な全体換気、局所排気装置を用いること。
- 静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。

**C. 個人防護具**

- 呼吸保護
  - 使用前に警告の特性を考慮すること。
- 眼の保護

- 作業場の近くに洗眼設備と非常洗浄設備（シャワー式）を設置すること。
- **手の保護**
  - 適切な耐化学性手袋を着用すること。
- **身体の保護**
  - 適切な保護服を着用すること。
- **その他**
  - データなし

## 9. 物理化学的特性

A. 外観	
- 性状	エアゾール
- 色	黒色
B. 臭い	データなし
C. 臭気閾値	データなし
D. pH	データなし
E. 融点/凝固点	データなし
F. 沸点、初留点及び沸騰範囲	<68.9℃
G. 引火点	データなし
H. 蒸発速度	データなし
I. 引火性（固体、気体）	データなし
J. 燃焼又は爆発範囲下限/上限	データなし
K. 蒸気圧	データなし
L. 溶解度	水に不溶
M. 蒸気密度	>1（空気=1）
N. 比重	0.87
O. 水/n-オクタノール分配係数	データなし
P. 自然発火温度	データなし
Q. 熱分解温度	データなし
R. 粘度	データなし
S. 分子量	データなし

## 10. 安定性及び反応性

### A. 安定性

- 常温・常圧、密閉保管であれば安定

### B. 有害反応の可能性

- ほかの可燃性物質と接触して火災を起こす恐れがある。

### C. 避けるべき条件

- 直射日光、加熱、火源。

### D. 混触危険物質

- 強酸化剤及び強還元剤。

### E. 危険有害な分解生成物

- 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

### A. 暴露の可能性が高いルートに関する情報

- (呼吸器)
  - データなし
- (経口)
  - データなし
- (眼・皮膚)
  - データなし

### B. 有害性

#### ○ 急性毒性

##### \* 経口毒性

- [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic]: ウサギのLD50値、>15000 mg/kg [RTECS (1997)] は区分外に該当するが、リスト3のデータしかなく分類できない。

- [Propane]: GHSの定義による気体
- [Butane]: GHSの定義による気体
- [n-Hexane]: ラットのLD50値、15800、28700、32400mg/kg〔以上、EHC122(1991)〕に基づき、区分外とした。
- \* **経皮毒性**
  - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic]: ウサギのLD50値、>5000 mg/kg〔RTECS(1997)〕は区分外に該当するが、リスト3のデータしかなく分類できない。
  - [Propane]: GHSの定義による気体
  - [Butane]: GHSの定義による気体
  - [n-Hexane]: 5mL/kg (換算値3297mg/kg) でウサギに死亡がみられた〔PATTY(5th,2001)〕との記述があるが、詳細な情報はなく、データ不足のため分類できないとした。
- \* **吸入毒性**
  - [Propane]: モルモットでのLC50 (2時間) 値: >55000ppm (4時間換算値: >38890ppm) (ACGIH 7th, 2001) に基づき、区分外とした。
  - [Butane]: ラットLC50 (4時間) 値: 277374ppm (ACGIH (7th, 2001), DFGOT vol.20 (2003), PATTY (4th, 1994), 産衛学会勧告 (1993) ) に基づき、区分外とした。
  - [n-Hexane]: ラットのLC50値、48000ppm/4h〔環境省リスク評価第1巻 (2002) 〕、74000ppm/4h〔EHC122(1991)〕に基づき、区分外とした。なお、1bar=750mmHgとして、蒸気圧160mbar(20℃)〔ホンメル(1996)〕より飽和蒸気圧濃度は157895ppmV、したがって気体の基準値により分類した。
- **皮膚腐食性/刺激性**
  - [Propane]: ACGIH(7th, 2001)のヒトでは軽度の紅斑のみが一過性に認められ、皮膚一次刺激性は無視し得る程度であったとの記述から、区分外とした。
  - [n-Hexane]: ウサギの皮膚に半閉塞適用24時間後に軽度の刺激性 (slightirritation) が認められた〔DFGOTvol.14(2000)〕。ヒトでは閉塞適用1~5時間後に紅斑、5時間後に水疱形成も見られ、1.5mLを前腕部皮膚に適用後ヒリヒリ感と灼熱感および一過性の紅斑を認めた〔DFGOTvol.14(2000)〕。さらに、EU分類でXi、R38に分類されている (EU-AnnexI(AccessonJuly2005)) ことを考慮に入れ区分2とした。
  - [Talc]: 軽度の皮膚刺激
- **眼に対する重篤な損傷/刺激性**
  - [Asphalt, oxidized]: 眼刺激
  - [Butane]: データ不足のため分類できない。DFGOT vol.20 (2003)にウサギの眼を刺激しないとの記述があり、ヒトのガス暴露例に眼刺激性は報告されていないが、明確に有害性を否定する記述がないことから、データ不足のため分類できない。
  - [n-Hexane]: ウサギの試験で、本物質を0.1mL点眼した結果、軽度の刺激性 (Slightirritation) がみられた〔DFGOTvol.14(2000)〕ことから区分2とした。
- **呼吸器感作性**
  - データなし
- **皮膚感作性**
  - [n-Hexane]: ボランティア25例を対象とした皮膚感作性試験 (Maximizationtest) で感作性が認められなかったとする陰性結果 (DFGOTvol.14(2000): WHO(WorldHealthOrganization)(1991)n-Hexane.IPCS-Environmentalhealthcriteria122,WHO,Genf.) はあるが、本報告のみでは感作性がないことの確かな証拠とするには不十分であると判断し、分類できないとした。
- **発がん性**
  - \* **IARC**
    - [Talc]: Group 2B (Talc-based body powder (perineal use of))
    - [Talc]: Group 1 (Talc(containing asbestos fibers))
    - [Talc]: Group 3 (Talc not containing asbestos or asbestiform fibres)
  - \* **OSHA**
    - データなし
  - \* **ACGIH**
    - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic]: A4
    - [Talc]: A1 (Talc(containing asbestos fibers))
    - [Talc]: A4 (Talc(containing no asbestos fibers))
  - \* **NTP**
    - データなし
  - \* **EU CLP**
    - [Butane]: Carc.1A (butane (containing ≥ 0,1% butadiene (203-450-8));)
    - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic]: Carc.1B
- **生殖細胞変異原性**
  - [Propane]: in vitro試験のデータのためのため分類できない。
  - [Butane]: 細菌を用いる復帰突然変異試験で陰性の結果 (DFGOT vol.20 (2003), PATTY (4th, 1994), NTP DB (Access on Oct 2005)) があるが、in vitro試験のデータしかないので分類できなかった。
  - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic]: in vivo の試験データがなく、複数指標in vitro変異原性試験の陽性結果もないので分類できない。なお、Ames試験〔(OECD TG471); IUCLID(2000)〕は陰性であった。

- [n-Hexane]: マウスの吸入暴露による優性致死試験（生殖細胞in vivo経世代変異原性試験）で陰性 [DFGOT vol.14(2000)、ATSDR(1999)]、マウスに吸入ばく露による赤血球を用いる小核試験 [ATSDR(1999)]、マウスおよびラットに吸入ばく露による骨髄細胞を用いる染色体異常試験（体細胞in vivo変異原性試験） [DFGOT vol.4(1992)] でいずれも陰性結果に基づき、区分外とした。なお、ラットの生殖細胞および骨髄細胞を用いたin vivo染色体異常試験で陽性の報告もされているが、試験に方法論的欠陥があり染色体異常誘発の証拠とは見なせないと述べられている (DFGOT vol.14(2000))。また、in vitro変異原性試験として、Ames試験 [EHC122(1993)、ATSDR(1999)]、5178Y細胞を用いたリンフォーマアッセイ [EHC122(1991)]、CHO細胞を用いた染色体異常試験 [DFGOT vol.4(1992)] など陰性の報告がある。

#### ○ 生殖毒性

- [n-Hexane]: ラットを用いた吸入ばく露による二世代生殖試験において、二世代とも親動物 (F0およびF1) の性機能および生殖能に障害を起さなかった (DFGOT vol.14(2000)) が、ラットに500~1500ppmを妊娠期間中の吸入ばく露により吸収胚率の増加 (EHC122(1991))、ラットに5000ppmを妊娠6~17日に吸入ばく露により同腹生存仔数の用量依存的に有意な減少 (ATSDR(1999)) がそれぞれ母動物の体重増加抑制とともに認められたとの試験結果がある。また、EUフレーズはR62、MACはCに区分している。以上のことから区分2とした。なお、一方でラットに1000ppmを妊娠8~16日の吸入ばく露が吸収胚率の増加にはつながらなかったとする報告 (EHC122(1991)) もある。

#### ○ 標的臓器/全身毒性 (単回暴露)

- [Propane]: ACGIH(7th, 2001)のヒトへの影響として麻酔作用を示すとの記述から、区分3(麻酔作用)とした。  
 - [Butane]: ACGIH(7th, 2001)、DFGOT vol.20(2003)、PATTY(4th, 1994)および産衛学会勧告(1993)のヒトにおいて高濃度吸入で麻酔作用または中枢神経系抑制を示すとの記述から、麻酔作用があると考え、区分3とした。  
 - [n-Hexane]: ヒトのボランティアを用いた吸入試験でめまい、職業ばく露において傾眠が見られた報告 (EHC122(1991)) があり、また、ラットまたはマウスを用いた吸入ばく露試験で認められた症状として、運動失調、協調欠如、鎮静、麻酔の記載がある (EHC122(1991)、PATTY(5th,2001)) ことから区分3(麻酔作用)とした。一方、ヒトで吸入ばく露後、咽喉または上気道の刺激を起こした、あるいは起こし得るとの記述 (ACGIH(7th,2001)、PATTY(5th,2001))、かつ、マウスに吸入ばく露により気道刺激が観察されたとの報告 (PATTY(5th,2001)) に基づき区分3(気道刺激性)とした。

#### ○ 標的臓器/全身毒性 (反復暴露)

- [Butane]: DFGOT vol.20(2003)のラットを用いた反復吸入暴露試験 (イソブタンやペンタンの混合物) で毒性が認められなかったとの記述がある。一方、DFGOT vol.20(2003)にヒトの麻酔目的での反復吸入暴露例の多くに多幸感および幻覚がみられたとの記述から、中枢神経系に影響する可能性もあるが、他に反復暴露で中枢神経系への影響を示唆するデータはなく、データ不足のため分類できない。  
 - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic]: ラットの28日間の吸入試験 (ミスト: 50、210、1000 mg/m<sup>3</sup>、90日換算値: 0.017、0.07、0.33mg/L)において、ガイダンスの区分2に相当する0.33mg/Lの用量で肺重量変化や肺胞壁の肥厚 [ (OECD TG412) ; IUCID(2000) ] などの影響が見られているが、体重の減少などの一般症状の変化は観察されず、他にデータがなくデータ不足で分類できない。  
 - [n-Hexane]: 本物質の職業ばく露により多発性神経障害、末梢性神経障害、多発性神経炎の発症を示す数多くの報告がある (環境省リスク評価第1巻 (2002)、EHC122(1991)、ACGIH(7th,2001)、DFGOT vol.14(2000)、PATTY(4th,1994)、ATSDR(1999))。また、本物質のばく露を受けたヒトを対象とした疫学研究も繰り返し実施され、その多くがばく露とこれらの有害影響との関連を認める結果となっている (環境省リスク評価第1巻 (2002)、産衛学会勧告 (1993)、DFGOT vol.14(2000)、ATSDR(1999))。以上のヒトの症例報告と疫学研究の結果に基づき区分1(神経系)とした。なお、動物試験ではラットに反復吸入または経口ばく露による所見として、末梢神経障害、神経行動学的影響、脛骨神経の軸索変性、後肢脱力、神経伝達速度低下などが記録され (PATTY(5th,2001)、EHC122(1991)、DFGOT vol.14(2000))、その多くがヒトの症状と共通している。

#### ○ 吸入有害性

- [Propane]: GHSの定義による気体  
 - [Butane]: GHSの定義による気体  
 - [n-Hexane]: 炭化水素であって、かつ40°Cでの動粘性率が20.5mm<sup>2</sup>/s以下であることから、区分1とした。DFGOT vol.4(1992)にはラットでAspirationにより化学性肺炎が認められたとの記述もある。

## 12. 生態学的情報

### A. 生態毒性

- 魚類
  - データなし
- 甲殻類
  - [n-Hexane]: 甲殻類 (オオミジンコ) での48時間LC50=3.88mg/L
- 藻類
  - データなし

### B. 残留性と分解性

- 残留性
  - データなし
- 分解性
  - データなし

### C. 生体蓄積性

- 生体蓄積性
  - データなし
- 生分解性

- データなし

#### D. 土壤中の移動性

- データなし

#### E. オゾン層への有害性

- データなし

#### F. その他の有害な影響

- [Asphalt, oxidized]: 長期的影響により水生生物に有害のおそれ
- [n-Hexane]: 急速分解性があり (BODによる分解度: 100% (既存点検, 1996) )、かつ生物蓄積性が低いと推定される (log Kow=3.9 (PHYSPROP Database, 2009) ) ことから、区分外とした。

### 13. 廃棄上の注意

#### A. 廃棄方法

- 油と水の分離が可能なのは、油と水の分離方法で事前処理すること。
- 焼却して処理する
- 廃棄物管理法上の規定を遵守すること。

#### B. 廃棄上の注意

- データなし

### 14. 輸送上の注意

#### A. 国連番号

- 1950

#### B. 国連輸送固有名

- Aerosols, flammable, (each not exceeding 1 L capacity)

#### C. 輸送危険クラス (ES) :

- 2.1

#### D. 包装等級

- データなし

#### E. 海洋汚染物質

- 該当なし

#### F. 輸送上の特定の安全対策及び条件

- DOTおよびその他の規定により包装または輸送すること。
- 火災時の非常措置の種類: F-D (Flammable gases)
- 流出時の非常措置の種類: S-U (Gases (flammable, toxic or corrosive))

#### G. 緊急時応急措置指針(容器イエローカード)番号

- 126

### 15. 適用法令

#### A. 日本国内規制事項

- 消防法
  - 第4類第1石油類(非水溶性液体)
  - \* 危険等級
    - II
- 労働安全衛生法
  - \* 有機則
    - 第2種有機溶剤(39 ノルマルヘキサン)
  - \* 表示物質
    - 法第57条第1項、施行令第18条第1号 別表9(168 鉱油, 520 ヘキサン)
  - \* 通知物質
    - 法第57条の2、施行令第18条の2第1号 別表9(168 鉱油, 520 ヘキサン)
- PRTR法
  - 第1種指定化学物質
    - 第392号 ノルマルヘキサン

**B. 他の国内および国際法律情報**

- 残留性有機汚染物質規制法
  - 該当なし
- EU 分類情報
  - \* 分類
    - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic] : Carc. Cat. 2; R45
    - [Propane] : F+; R12
    - [Butane] : F+; R12
    - [n-Hexane] : F; R11 Repr. Cat. 3; R62 Xn; R48/20-65 Xi; R38 R67 N; R51-53
  - \* 危険有害性情報
    - [Propane] : R12
    - [Butane] : R12
    - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic] : R45
    - [n-Hexane] : R11, R38, R48/20, R62, R65, R67, R51/53
  - \* 注意書き
    - [Propane] : S2, S9, S16
    - [Butane] : S2, S9, S16
    - [Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic] : S53, S45
    - [n-Hexane] : S2, S9, S16, S29, S33, S36/37, S61, S62
- 米国の管理情報
  - \* OSHA 規定 (29CFR1910.119)
    - 該当なし
  - \* CERCLA 103 規制 (40CFR302.4)
    - [n-Hexane] : 2267.995 kg 5000 lb
  - \* EPCRA 302 規制 (40CFR355.30)
    - 該当なし
  - \* EPCRA 304 規制 (40CFR355.40)
    - 該当なし
  - \* EPCRA 313 規制 (40CFR372.65)
    - [n-Hexane] : 該当する
- ロッテルダム協約物質
  - 該当なし
- スtockホルム協約物質
  - 該当なし
- モントリオール議定書物質
  - 該当なし

**16. その他注意事項****A. 参考文献**

- このSDSはKOSHA、NITE、ESIS、NLM、SIDS、IPCSなどに基づいて作成してある。
- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253
- 危険及び有害性評価は十分ではないので、お取り扱いには十分にご注意ください。
- 本製品安全データシートは当社の製品を適切に使用するために注意する事項を簡単に整理したもので、通常の手配を対象に作成されております。
- ここに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカ所有の知見に基づいて作成しており、そのデータや評価はいかなる保証をなすものではありません。
- 法令の改訂及び新しい知見により改訂されることがあります。

**B. 作成日**

- 2015-12-18

**C. 改訂回数及び最終改訂日**

- 1time, 2016-06-01

**D. その他**

- この情報は労働者の健康、環境、安全を保護するため、現在使用可能なDBに基づいて作成してある。